

# 福祉だより 信州



社会福祉 HERO'S vol.17

詳しくは巻末をご覧ください。



特集

福祉・介護の仕事を、信州で!

No.

791

2021 12月号



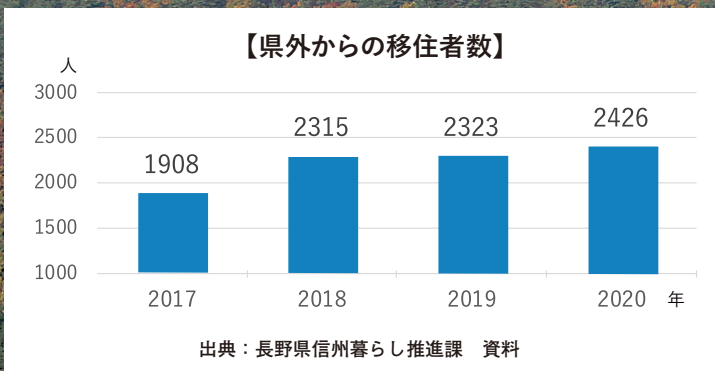


# 「ともに創る」を実践する

実践目標 ⑥ 福祉を支える人を「育てる・支える」仕組みの充実



# 福祉・介護の仕事を、信州で!



長野県には、県外から転入する移住者が増えており、長野県社協・福祉人材センターの相談窓口でも、移住希望者からの相談が増加傾向にあります。一方、長野県が実施する「移住支援金」制度は、福祉・介護事業所の利用が低調となっています。福祉人材確保の一環として、移住者にもしっかりアピールしていくために、移住者の声と支援制度を特集します。

## ① 長野県への移住の現状

認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京都）が毎年行っている移住希望地調査では、2017年から2019年まで長野県が1位となっています（2020年は3位）。

2020年は、新型コロナウイルスの影響で移住促進のセミナーが減少するなど、環境変化の中で、3位となりました。しかし、移住者の実数では、2426人と引き続き増加しており、都会から近く、自然豊かな信州への人気は継続しています。

長野県信州暮らし推進課の資料によると、令和2年度の長野県への移住者数は2426人（世帯では1194世帯）となっています。移住理由を見てみると、「地方暮らし」（28・8%）、「転職・転業」（19・3%）、「転勤」（8・1%）、「就職」（7・3%）などとなっています。

### 福祉の仕事ならおまかせください 求人・求職をマッチングします!

福祉の職場は、コロナ禍での衛生管理が徹底しており、安心して働ける職場です。福祉人材センターでは、「オンライン福祉の職場説明会」も開催しており、遠距離でも相談できますので、ぜひ、ご利用下さい。福祉・介護事業所の皆さんは、移住で就職を希望する方がいた場合に備えて、長野県移住支援金(最大100万円)を活用できるよう、長野県の担当窓口で事業所登録をお願いします。



長野県社協・福祉人材センター  
春日 正行  
キャリア支援専門員

長野県社協・福祉人材センターでは、県内4事務所に6名の相談員を配置して、福祉・介護・保育のお仕事の相談をお受けしています。詳しくは、「信州福祉・介護のひろば」  
<https://fukushi-nagano.jp/>  
をご覧ください。

### 【移住相談 希望地ランキング】

順位	2015年	2016年	2017年
1位	長野県	山梨県	長野県
2位	山梨県	長野県	山梨県
3位	島根県	静岡県	静岡県

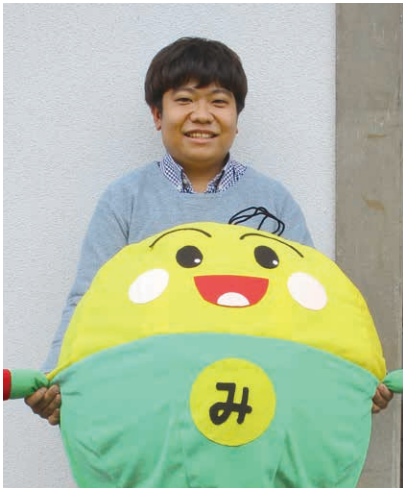
順位	2018年	2019年	2020年
1位	長野県	長野県	静岡県
2位	静岡県	広島県	山梨県
3位	北海道	静岡県	長野県

出典：ふるさと回帰支援センター（東京）

長野県社協・福祉人材センターにも移住希望者からの相談が増加傾向です。福祉の資格や経験のある方が就職につながるケースはもちろんですが、機械修理のキャリアを持つ方が、介護機器のメンテナンス担当として福祉施設に採用されるなど、様々なマッチング事例が出てきています。



# 都会で味わえない経験を信州で



からし種の会のマスコット“みどりっち”と。  
モットーは、明るく楽しく元氣よく！

**渡嘉敷 直康さん 26歳**  
東京都江戸川区出身、御代田町在住

—長野県に移住したきっかけは？  
都内の大学では児童福祉を専攻し、NPO法人で東日本大震災で被災した福島県の子どものためのボランティアをしていました。その時、リフレッシュキャンプで長野県にたびたび来ていたので、自然豊かな信州の魅力を感じようになりました。

卒業後は長野県で就職したいと考え、たまたま長野の友人が同じ職場に行くことになり、住居などを手配してもらうことができました。

—福祉との出会いは？  
実家が居酒屋を営んでおり、子どもの頃から人と接することが好きでした。大学でのボランティアを通じてますます福祉が好きになりました。

—今のお仕事は？  
障害者施設で利用者さんの生活の支援を行っています。利用者さんの元氣な笑顔を見るのがやりがいになります。



からし種の会 採用担当  
次長 高橋邦彰さん  
「近年になって、インターンなど県外からの学生の問合せが増えています。オンライン説明会等を使ってもらい、少しでも私たちのことを知ってもらえれば嬉しいです」

—長野県の魅力は？  
豊かな美しい自然と人々の親しさです。普段からご近所同士が気軽にあいさつし合う関係は東京ではほとんどありません。自然や人間関係など、東京では味わえないことを味わえることが一番の魅力だと思います。

—これから移住を考えている方に  
長野県に移住した時はまだオンラインによる支援ツールを知らなかったのですが、これから移住を考えている人にはいろいろなツールを使ってほしいと思います。また、私からも長野県の良さを伝えていければと思います。



社会福祉法人からし種の会 (佐久市)

2 信州に移住して福祉の仕事に就いた方々にお聞きしました

## 資格を活かし、信州で新たな人生

—長野県に移住したきっかけは？  
甥が自閉症で県内のグループホームで生活しています。甥の両親は他界し、妻がキーパーソンを担っています。私たちが近くで生活することで甥の生きる力の一部になれたらと引越を決めました。

—移住の際に活用したツールは？  
移住前は、静岡県で福祉の仕事をしていました。その資格を活かすことができたので、長野県の福祉の仕事を探していた際に、県の移住相談窓口と県社協のオンライン福祉の相談会があることを知りました。



40代のときに信州で新規就農者として働いた経験も

**吉田 弘行さん 66歳**  
埼玉県川越市出身、伊那市在住



伊那市内を流れる天竜川

—福祉との出会いは？  
父親が認知症になったのがきっかけで福祉の仕事をはじめました。8年間介護、2年間知的障害者支援の仕事に携わっていたので、自分の性格と資質にあっていると思い、移住の際も抵抗なく福祉の仕事を選択しました。

—今の仕事や暮らしはいかがですか？  
高齢者施設で生活支援員をしています。休日には、家庭菜園やご近所さんの畑仕事のお手伝いをしています。信州の魅力は、人があたたかくて、自然環境に恵まれているところです。

—これから移住を考えている方に  
オンラインなら遠距離でも窓口相談ができ、移住後も職場とスムーズにつながるができます。心の準備ができるので、活用をおすすめします。



上伊那医療生活協同組合  
生協総合ケアセンターいな(伊那市)



# 信州への移住支援、職場説明会の紹介



## 長野県の取組

長野県内の事業主の皆様へ

長野県のマッチングサイト  
NAGANO MATCHING SITE 「信州で働こう！」

長野県のお手紙はこちら  
bit.ly/3sDiseo

東京圏・愛知県・大阪府からの人材採用を進めませんか！

- 民間求人サイトと連携し、広く情報発信！
- 長野県が運営する移住を検討している方々に特化した求人サイトです

<< 求人掲載無料 >>

長野県へ移住した方には100万円の移住支援金

お問い合わせ先  
長野県 026-235-7201 rotai@pref.nagano.lg.jp

### 長野県移住支援金について

長野県及び県内61市町村において、東京圏、愛知県又は大阪府から県内に移住し、県が開設・運営するマッチングサイトに掲載する求人に応募して採用された方等に、移住支援金(最大100万円)を支給する制度を実施しています。

対象法人は、長野県内に本部所在地があれば、医療法人、社会福祉法人、NPO法人、事業協同組合でも可能となっています。申請には、移住支援金の対象企業としての登録とマッチングサイトへの掲載が必要です。

### 実績など

この移住支援金は令和元年度から開始され、本年度で3年目になります。登録している事業所・企業は11月末現在181ありますが、そのうち医療・福祉系が23となっています。

支援金の申請件数は1年目5件、2年目11件、3年目で31件と年々増加しています。県外からの求職者にとって支援金が利用できることはアピールポイントのひとつになりますので、ご登録をおすすめします。

● 問合せ先 長野県産業労働部労働雇用課雇用対策係  
TEL.026-235-7201  
E-メール: rotai@pref.nagano.lg.jp

オンライン上で求人事業所の紹介が見れます！

令和3年度 オンライン 福祉の職場説明会

長野県内の福祉・介護・保育・看護関係の求人事業所の紹介映像や職員からのメッセージを掲載しています

期間 6月1日(火)～令和4年3月31日(木)

好きな場所・時間帯から「信州福祉・介護のひろば」特設サイトへ

「Zoom」ミーティングツールを使って担当者に質問しよう！

長野県社協 福祉人材センター

TEL.026-226-7330 FAX.026-227-0137 E-mail:jinzai@nsyakyo.or.jp

## ③ 長野県福祉人材センターの取組

### オンラインの職場説明会について

長野県社会福祉協議会 福祉人材センターでは、長野労働局、長野県等と連携し、福祉職への就職を考えている方、福祉・介護の仕事に興味のある方を対象に県内各地で「福祉の職場説明会・就職相談会」を開催しています。

昨年度から、新たにネットを活用し、オンラインで事業所の紹介と説明会を行うことにより、長野県外の方でも移動することなく長野県内の福祉・介護人材の求人事業所と求職相談できる「オンライン福祉の職場説明会」も同時に開催しています。

### 令和3年度の実施状況

本年度は6月からオンライン福祉の職場説明会を開催しておりますが、約110法人、170事業所の参加があります。求職者からは延べ14名から問い合わせがありました。

そのうち、長野県外からの問合せがあり、オンライン説明会を行ったのは2名になります。いずれも関東地区から南信地域への移住の予定があり、福祉の仕事をしたという事で相談がありました。現在2名ともキャリア支援専門員のサポートを受けながら、求職活動を行っております。福祉人材センターでは今後とも行政等と連携して、一人ひとりにあった求職活動をサポートしていきます。

● 問合せ先  
長野県社協・福祉人材センター  
TEL.026-226-7330 FAX.026-227-0137  
E-メール: jinzai@nsyakyo.or.jp



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは  
コチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28作成)

令和3年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補償基本A型	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用B型	基本補償(A型) 保険料	
	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJ20-12299 2020.12.28作成)

開催予告!

2/5(土)  
10:00  
スタート!

## 「長野県まちづくり・ボランティアフォーラム2021」 ～コーディネーターの学びと発見 本気で考える“まちづくり”～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、これまでのつながり方や地域コミュニティの在り方を見直さざるを得ないこれからの時代、ボランティア活動や社会活動、さらにはボランティアな精神で地域を舞台に取り組み多様な方々が集い、実践の共有と学び合いから生まれる仲間づくりを目指すフォーラムを準備中!



【基調講演】

(仮称)東日本大震災から10年

復興と地域づくり、持続可能な未来をつくる地域の力

【講師】天野和彦さん 福島大学つくしまふくしま未来支援センター／特任教授・修士

1959年福島県会津若松市生まれ。障がい児教育を専門として15年間、障がいを持った子どもたちの教育に携わる。2002年より福島県教育庁生涯学習文化グループ勤務。2011年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2500人の被災者を受け入れた「ビッグバレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わる。2012年4月より現職。被災者の生活再建、コミュニティ形成のための支援活動を行なっている。

当日はその他パネルディスカッション、ランチ情報交換会、テーマ別分科会を企画中!

- 主催 長野県まちづくり・ボランティアフォーラム2021実行委員会  
社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- 共催(予定) 日本地域福祉学会、長野県生涯学習推進センター
- 期 日 令和4年2月5日(土)10:00スタート

フォーラムの詳細、お申し込みなどは、  
長野県社会福祉協議会ホームページ  
で後日ご案内します。



令和3年度

開催予告

# 災福ネットセミナー

【開催日時】

令和4年1月27日(木) 14時～16時(予定)

災福ネット(長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会)が発足してまもなく3年が経過します。この間、令和元年東日本台風災害の際に避難所における要配慮者支援を行うなど、ふくしチーム員の養成とともに、地区学習会の開催等チーム員のスキルアップを図ってきました。

近年、台風等による水害や地震が相次ぐ中、国においては令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者の個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされました。このことを具体的に取り組んでいくためには、行政と地域に加えて福祉・介護事業所との連携が不可欠となります。さらに、法改正に伴い、福祉避難所の確保・運営ガイドラインも改定されたことも加わり、これらを踏まえた各福祉事業所における事業継続計画(BCP)の作成の必要性もさらに高まっています。

本セミナーでは、こうした制度の改正を包括的に捉え、全体として取り組んでいくために災福ネットやふくしチームの取組を広める機会とし、さらなるネットワークの構築を目指します。

内容

【基調講演】「災害福祉の制度改正を包括的に学ぶ」

- 【活動報告】
- 災福ネットの取組について
  - 令和元年東日本台風災害における避難所運営について
  - 県域ネットワークの活性化に向けて







# 探検・発見・ほっとけん まちの縁側in白馬村



山の雪化粧と紅葉が映える、まるで絵葉書のような秋晴れの10月中旬、白馬村でまちの縁側講座が開催されました。参加者は、まち歩きを3つのルートに分かれ、まちの縁側に関わる人たちとの会話や村の良さなどを再発見する機会になりました。

その1つ「駅前新旧発見コース」では、駅周辺の店舗周り2か所の足湯をめぐりました。



時間をゆっくり過ごせる工夫を  
こらしている白馬駅の足湯

## 人々の出会いとおもてなしの源

白馬三山より湧き出る八方温泉は、駅前までひかれ「白馬駅前の湯」として、どなたでも無料で利用できるようになっています。そのため地元の方や観光客も利用する人の集まる場所になっています。観光地白馬村らしく、駅前の足湯は列車を待つ人たちの時間をもてなし、楽しんでもらおうと、駅前商店街の皆さんが足湯を管理しています。足湯の周りには、白馬村の歴史展示や観光案内の他、持ち寄りの単行本が集められた本棚も設置されています。行き交う人たちが、ふと足を止めて過ごせるまちの縁側がそこにはあります。

## 白馬シニアの元気の源

住宅地の中にある「薬師の湯」は、散歩やサイクリングコースの立ち寄り場所になっており、地域住民も観光客も利用する足湯です。足湯のある八方口地区の八方口シニアクラブの皆さん19名が、月に1度集まり足湯の清掃管理を10年以上続けています。湯を抜き丁寧に浴槽を掃除し、ときには浴槽の修繕も行います。さらに足湯の周りの神社の花壇整備や花のプランターを飾り、足湯周りを彩っています。

「シニアクラブの皆で掃除をすることで、地域の役に立てることがうれしいです。さらに、みんな高齢なので集まる機会があることで、お互いの様子を気にかけてあうこと、健康づくりにもつながっています」と、会長の矢口八重子さん。清掃の後には、足湯わきの消防屯所を借りてお茶会が開かれていました。昨年より、感染症対策のため清掃のみ行っていますが、暮らしのちょっとした手助けをしあうご近所さんとして、普段より声を掛け合っているそうです。

足湯に入りながら身体もぽかぽか、心も自然とほぐれゆく足湯のあるまちの縁側は、自然と様々な人たちが集まり、互いを思う温かさが感じられる場所となりました。



元気パワーあふれる八方口シニアクラブの皆さん



長年続けている丁寧な清掃活動は、手際よく役割分担で進められます

お問い合わせ先

白馬村地域包括支援センター 〒399-9301 白馬村北城7025(白馬村役場内)



# 充実の教育制度とIT化で よりよい職場づくりを



社会福祉法人れんげ福祉会 ケアハウス銀松苑(大町市)



外国人実習生も積極的に受け入れ、生活支援までサポートも充実



24時間365日、利用者の生活の支えになっている実感が  
 得られることがやりがいだと話す種山さん

**「教育とIT化」**をキーワードに、先進的な取り組みを展開している「れんげ福祉会」。新入職員には1人につき2人の先輩職員が教育係を担当し、1年間手厚くサポートすることによって成長を支えます。全職員に対しては、介護技術はもちろん、施設の方針や介護保険制度についてなど、毎月さまざまな研修や勉強会を実施。資格取得の支援も充実しています。

介護現場では、介護記録の管理や情報共有のために早期にタブレットを使った記録のデジタル化を進めてきました。デジタル化は介護に関する記録だけでなく、人事評価についてもAIによる公平な評価の仕組みを整えています。職員の幸せと豊かな労働環境が利用者の幸せにつながる」との思いで環境整備にも力を入れ、日々の清掃を通して業務の効率化と快適で働きやすい施設への気づきを促しています。

そんな同法人で1年間の産休・育休を経て、介護事業課主任を務めるのが種山愛未さんです。地元で貢献して人の役に立ちたい思いから2009年に新卒で入職しました。現在は「大変だと思われがちな介護の仕事の楽しさややりがいを若手職員たちに伝えたい」との思いを大切に、先輩たちの手本となるよう、職員一人ひとりとコミュニケーションを図ってチームの足並みを揃えています。「私がロールモデルとなることで、後輩たちにも結婚出産を経ても安心して働いてほしい」と種山さん。今後は「信州ふくにん」の認証制度がさらに県内に広く浸透することで、認証事業者であることが福祉をめざす学生へのPRになるとともに、利用者やご家族にとっての安心感、職員のモチベーション向上にもつながることに期待を寄せています。

WEBでも  
 ご覧になれます



信州福祉事業所認証・評価制度制度については「信州福祉・介護のひろば」HPをご覧ください。

●ご感想、お問合せ、  
 掲載希望等は下記へ  
 お寄せください。

長野県社会福祉協議会  
 総務企画部 企画グループ  
 TEL 026-228-4244  
 FAX 026-228-0130  
 E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べり帖



長野県福祉研修  
 実施団体  
 きやりあねっと

信州福祉・  
 介護のひろば



## ざわめくアート



『松井のま』 画用紙、アクリル絵の具

作者:松井 直樹(まつい なおき) 50歳  
 駒ヶ根市在住

アートサポーターからのコメント「毎週火曜日の午後が美術の活動時間。松井さんは部屋に入ってくると同時にエプロンを装着、そこで制作のスイッチが入ります。主に描くものは自分の名前「松井」の「ま」。もの凄い勢いで筆を走らせながらノンストップで制作は進みます。画面上にはたくさんの「ま」で埋めつくされ、ダイナミックな作品があつという間に誕生します」

松井さんがアート活動をしている福祉事業所の企画展で作品を目撃した。何枚もの色の違う「松井のま」の作品が並んでいる。「ま」の字が強烈なエネルギーを発して鎮座している。「これは僕だ！僕はここにいる！」と主張しているかのような。一瞬めまいを覚えた。

(ながのアートミーティング 取材)